天六關西大學新聞

四月號

編輯兼發行人　中谷俊明
印刷兼發行所　關西大學靈岡專門部新聞部
事務所　大阪市東淀川區長柄中通二
電話堀ノ内一七八〇番　一〇三九番

新入學生を迎ふ

専門部主事　武田藏之助

關西・大學は今より四十七年前即ち明治十九年の創立に係り來る昭和十年には實に創立五十年に相當する古き歴史を有する大學であります。現在の在學生は學部八百八十九名、大學豫科五百八十二名、專門部第一部八百五十六名、同第二部二千六十六名合計四千三百九十三名の多きを算へ、本年新に入學せらるゝ諸君を加ふる時は、その數莫大に達することゝなり、學運は日に月に益々隆盛に向ひ大學の基礎また年と共に愈々堅實を加へつゝあるは、新入學生諸君と共に寔に同慶に堪へない次第であります。

さて・本學專門部は學則にも明示してあります通り、高等專門の學術を教授し兼て人格の陶冶及び國體觀念の養成に留意することを其の主旨及び綱領として居りますが、また歴史的には本學は常に質實剛健の學風を以て其の傳統的精神となし今日に及んでゐるのであります。

專門・部第一部は設置以來日尚浅く漸くこの三月第一回の卒業生を送り出したのでありますが、學生各自がよく本學教養の趣旨を體し、本學建學の精神の發揚に努力せられたことは、吾人の等しく感謝するところで學校教練に於ても模範校として指摘せられ一般に其の名聲を認められたるが如き、專門部第一部の深く誇りとするところであります。

飛つ・て社會一般の現狀を觀ますに經濟國難、思想國難の聲高く世相は益々複雜化して來ました。併しながら苟くも身、修學の過程にあるものは思想問題又は社會問題等に對し、飽くまで慎重に理性的に批判考究の態度を執らるゝことを特に切望するものであります。即ち新入學生諸君は、飽くまで中正穩健に不惑の精神を以て健實眞摯なる修學方法をとられ、常に教育勅語の聖旨を奉戴し、苟くも放恣輕佻に流れざるやう自ら戒むべきであります。

時方・に國家の内外頗る多事多端にして外交上に於ても幾多の國際的難局に遭遇し、社會は高等專門の教育を受けた人を社會の新指導者としてその將來に期待するところ愈々切なるものがあります。此の意味に於て諸子は社會の期待に背かないやう自重勤勉、各自の責任の重且つ大なるを思ひ自已の人格の向上發展を計ると共に、本學學生たるの本分を盡して遺憾なきやう吳々も留意しなければなりません。

終り・に專門部の教授方法は從來諸君が修め來られたる方法と異る點あるを以てよくこの點に注意し、學習の間には圖書館をも利用して專ら實力の涵養に努力せられると共に、各自の健康に充分なる注意を拂ふことが肝要であります。

如何なる課業の學習に於ても結局この「健康」の二字の上に確立するものでなければ健實の眞義を持することが出來ません。特にこの點の注意を切望する次第であります。

警喩的に云へば法律學修行の第一段階は六法全書に惱まされる段階、第二段階は六法全書を惱ます段階、第三段階は六法全書と仲好しになる段階とも云へやう。

第一の段階に於ては條文の晦澁と退屈とに壓倒される。條文を見なければならぬと云ふ事は分つて居つても一々條文をあけて見ることはどうも面倒くさいし、あけて見たつて面白くもないので、つい敬遠すると云ふことになる。これは誰しも經驗するところであるけれども此の面倒くさいと云ふ氣分は速かに征服しなければならぬ。事ある毎に一々當該の條文をあけて讀む。講義を聽く際にも條文の引用があれば直ぐにその場で其條文を讀んで見る、教科書參考書などを讀む際にも引用されてある條文は必ず一讀する。かやうな習慣を成るべく速かに作ることが大切である。無論この際一々の條文の意味を盡く正解することは困難であるを知る丈では實効を收め難い事は判りきつたことで一に尊い体驗、体得に據らねばならぬことを首肯せられるであらふ。而も眞劍に從事してこそ始めて其眞味が解されるので淺薄な經驗や皮相の實感では教練の眞値が判らふ筈はなく況んや德性涵養の目的達成に於ておやである。

學生諸君よ。吾等の教練は教練せんが爲の教練ではない。諸君自からの心身を鍛へ實社會に活躍する素地を完成する爲の尊い課業であると云ふ事に自覺せられよ。

此自覺さへあれば教練の眞意義は必らずや實現せられ校風も亦自から振興されてゆくと信ず。

茲に就任に當り教練に臨む態度を述べ相偕に一意眞目的に向つて邁進せんとするものである。

六法全書に就て

先づ條文を讀め！

教授・西村信雄

『一夏を蚤と六法に喰はれけり』――これは小生の友人が嘗て或山寺に籠つて蚤にせめられつゝ勉強した折にものした駄句である。彼が詠歎したやうにまことに六法全書はうるさきもの面白からぬものである。ところが此の無味乾燥なる六法全書こそ實に我々法律學徒にとつては最重要な必携書なのである。六法全書と格闘することは法律學徒に課せられた不可避の修行であつて、而かも多量の忍耐を要する退屈な修行である。法律學學習の首途に於ては先づ此の事を覺悟せねばならぬ。

×……×……×

條文が法律學の全部ではないことは勿論である。けれども日本のやうに成文法主義の國に於ては條文を知らずして法律學を修めることは不可能事である。條文を見ずして法律を論ずることはバイブルを見ずしてキリストの教を說くにひとしい。

何はさておき先づ條文を讀め！これが法律學徒に贈らるべき第一の忠言である。

警喩的に云へば法律學修行の第一段階は六法全書に惱まされる段階、第二段階は六法全書と仲好しになる段階とも云へやう。

第一の段階に於ては條文の晦澁と退屈とに壓倒される。條文を見なければならぬと云ふ事は分つて居つても一々條文をあけて見ることはどうも面倒くさいし、あけて見たつて面白くもないので、つい敬遠すると云ふことになる。これは誰しも經驗するところであるけれども此の面倒くさいと云ふ氣分は速かに征服しなければならぬ。事ある毎に一々當該の條文をあけて讀む。講義を聽く際にも條文の引用があれば直ぐにその場で其條文を讀んで見る、教科書參考書などを讀む際にも引用されてある條文は必ず一讀する。かやうな習慣を成るべく速かに作ることが大切である。無論この際一々の條文の意味を盡く正解することは困難であるを知る丈では實効を收め難い事は判りきつたことで一に尊い体驗、体得に據らねばならぬことを首肯せられるであらふ。而も眞劍に從事してこそ始めて其眞味が解されるので淺薄な經驗や皮相の實感では教練の眞値が判らふ筈はなく況んや德性涵養の目的達成に於ておやである。

學生諸君よ。吾等の教練は教練せんが爲の教練ではない。諸君自からの心身を鍛へ實社會に活躍する素地を完成する爲の尊い課業であると云ふ事に自覺せられよ。

此自覺さへあれば教練の眞意義は必らずや實現せられ校風も亦自から振興されてゆくと信ず。

茲に就任に當り教練に臨む態度を述べ相偕に一意眞目的に向つて邁進せんとするものである。

×……×……×

六法全書は成るべく收錄法令の豐富なものが良い。最近出版のものは以前のものに比して著しく多數の法令を收錄して居る。例へば岩波版の昭和八年版には殆んど二百六十に垂んとする法令を收めて居るが試みに大正十年版の某書店發行のものを見ると僅かに六十四個の法令を收めて居るにすぎない。まことにめざましい發達である。事項索引參照條文附のものが出版されたことも六法全書における劃期的な發展と云ひ得るであらう。現在發行されて居る類書中では岩波版の六法全書を推奬したい。尚最後に一言、六法全書は常に最新版のものを備へて置かねばならぬ。さもなければ時勢遲れになるからである、

決定された

本年度の學科擔任

本年度專門部第一部の教授、助教授、講師の各擔任學課は四月十五日次の如く教務課から發表された。

教授

岩崎教授　社會政策、社會學
西村教授　債權總論、事務管理、契約
堀教授　英語
本莊教授　民法總則
大山教授　政治學
賀來教授　佛語
河村教授　商品
賀屋教授　英語
吉田教授　憲法
武内教授　哲學
瀧澤教授　商業政策、商業歴史並ニ商業通論
武田鼎教授　經濟原論
中谷教授　行政法並ニ各論
村上教授　英語
野村教授　商法總論並ニ倉庫稅關論
正井教授　外國貿易並ニ爲替
安藤教授　手形法、海商法
木村教授　親族法、相續法
水谷教授　英語
森下教授　財政學

助教授

磯部助教授　工業政策、經濟政策一般及各論
和田助教授　民法總則、法通
加藤助教授　商業簿記
中村助教授　交通學、地理學
矢口助教授　經濟史
古川助教授　經濟原論並ニ歴史

講師

西村嘉講師　心理學
西村勝講師　會計學、英語並ニ商業通論
德尾講師　佛語
河村講師　海上保險
高山講師　倫理學
瀧谷講師　保險學
武田藏講師　保險學
中川講師　海外經濟、英語
烏賀陽講師　會社法
宇治講師　經濟史
大橋講師　商行爲法
柳講師　論理
山田講師　民事訴訟法
增山講師　取引所法
柳瀨講師　國際私法
赤羽講師　獨語
佐伯講師　刑法總論、各論
齊藤講師　破産法
木村禎講師　商業政策
清家講師　國際公法
菊田講師　統計學
柚木講師　物權法
宮本講師　刑事訴訟法
赤川講師　銀行論、英語
須藤講師　銀簿、原價會計
岩田中佐　教練
可野學生監　教練
菊池學生監　教練

作成の趣旨

今や現代學生生活の坩堝は未曾有の動搖と不安と焦慮にたぎり立ち、その局面は殆んど行き詰りの狀態である。目まぐるしい社會思想の變動や思想的事件の頻發は瓢々乎として思想に落着きのない學生を左傾の怒濤に捲き込まんと其毒牙を剝き又所謂「學校は出たけれど」の學生の癌とされたる就職難の鐵扉は容易に開き難く更に國際的に聯盟脫退を敢行した帝國の前途は、國内經濟に國際經濟に大なる影響を與へ學生生活の前途を益々五里霧中の狀態に導き將に我ら學生生活の重大危機に頻して居る。このピンチ打開は最早個人の力を以てするも勞多く効果輕少の弊に陷り易い。學生大衆のこよなき團結心を以て協力一致！全學生が押し進んで行かねばならぬ。

茲に「**關西大學專門部第一部學生ニ關スル調査表**」なるものを作成せんとする趣旨は、全學生大衆諸兄の手を煩はし專一學生がこの難局に際し如何なる心事を以て遭遇せんとするかを調査せんとするにある。而してこの調査より或は就職に或は社會の趨勢に自己の處すべきヒントを得、善處する等今更該調査が我等の最も切實な問題なる事に贅言を要しない。

調査表は就職問題を始め其他十數項に亘つて現代學生生活の重大事項に質問の矢を放ち以て學生大衆の輿論を把握せんとしてゐる。**希ふ！熱誠なる專一學生大衆諸兄！その記入するところ何れも他人の爲ならず直接間接に自己に還元し來り他人の一紙は自己の一紙！自己の一紙又他人を益し自己の爲め！自他共に協力一致！神聖なる御回答あらん事を。**」

更に該調査表は第一回大事業として關大專一スピリットの構成要素を發現し對社會的に一大感銘を與へるを信ずるが故に試驗答案に向ふ嚴肅なる氣分を以て御記入あらん事を切望します。

尚本調査を爲すに當り特記すべきは「天六學友會委員會」の絶大なる御後援御鞭韃である。中村委員長始め學友會委員諸兄の本調査に對しての獻身的御後援は微力なる弊部の事業に必然的に一段と柏車をかけ本學專門部第一部の歴史的大事業となるを疑はない。更に學生課並に教務課及び教授連の御聲援を仰ぎ其結果如何は參考資料として今から大なる期待を懸けられて居る

願はくば將に學生大衆諸兄の手から生れんとする調査表を最も正確に最も意義深く完成せしめられん爲め一人でも多くの熱烈なる賛成者の御參加を切願します。

規定

□參加資格　（本學專門部第一部學生タルコト　但シ調査表ニハ無記名ニ據ル）
□調査表交付　來ル　五月　一日
□受付場所　一階掲示場下ニ投書箱ヲ設置ス
□受付締切　來ル　五月　十三日迄
□發表　次号發行ノ本紙上

主催　關西大學專門部第一部新聞部
後援　關西大學天六學友會

今般新聞部主催ニ據リ「關西大學專門部第一部學生ニ關スル調査表」ヲ作成セントスルハ最モ時宜ニ適シタル最重要事ト爲シ茲ニ後援ス。願ハクバ全學生大衆諸兄ノ御參加ヲ切望ス。

昭和八年四月十五日

後援者側責任者
天六學友會委員長　中村忠夫

去るに望みて

前配屬將校　小松中佐

小松中佐

私は今般關西大學服務を免ぜられて、聯隊附として歩兵第八聯隊に復歸を命ぜられ、茲に榮ある歴史を有する名譽赫々たる學校特に親愛なる學生諸子と、御別れすることゝなりましたことは、誠に惜別の情禁じ得ないのであります。

回顧すれば、昭和六年五月本學專門部服務として着任以來約二ケ年、此間何等功績の認むべきものがなかつたのでありましたが、學校當局並に教職員各位の御協力御援助と學生諸子の御奮勵御努力とに依りまして、今日あるを得ましたことは感謝の至りに堪えないのであります。

私は薄學短才しかも不尚の身を以て、本學專門部初代の配屬將校として着任しました當時は如何にして此の責任を全ふせんとするや、實は心中不安なものがあつたのでありましたが、私は當初諸君に誓ひました如く、學校の者となり誠心誠意奮勵努力し、本學專門部第一部の名聲を天下に轟かさんと決心したのであります。

然しながら實行の之に伴はなかつたことは、誠に慚愧の至りであります。にもかゝはらず學生諸子は學校教練の眞意を理解せられ孜々として熱心努力せられたると、教練科先生各位の誠意を以て配屬將校を輔任し、其任務に邁進せられた結果とは、教練の振作上大いに見るべきものゝあつたことは一昨及び昨兩年度の査閲の結果に徵しても明かであります。

私は今日茲に學校を去るに望みまして、學校當局、教職員各位、並に學生諸子に對し深甚の謝意を表したいのであります。

終りに本學の隆昌と、各位の御健康とを祈ります。

就任の辞

新配屬將校　岩田中佐

關西に於ける最も古く且輝しき歴史を有する本學に教練教官として就任した事は本官の光榮とするところである。初代教官のあの高い人格と非凡の手腕とを以て礎かれたる本校教練の後を受けた不肖としては學長の方針に基き諸先生方の御援助によつて專心努力此大任を果たし以て本校教

論說

新入學生へ望む

嘗ては四角の帽子を初めて冠づた「學生さん」を隨喜さしたであらう陽春四月、天に輝く麗日、地に爛漫として咲くローマンティックな櫻花も今は儚い現實的な餘りに現實的な舞台セットの感になつた。何がそうさせた？

我等が新入學生を迎ふるに徒らに美辭麗句を連ね一片の形式的存在に過ぎざる所謂おせじを言ふに忍ばない。寧ろ勇敢に學生生活に突進して來た新入學生諸君の中から望むべき事ではないが三年後又「就職難」に頭痛する人士を見る様な思へば冷水を浴るの感がする。

「何の目的もなしに入學して來た學生」はやがて「何を習得したか」の漠然たる疑問を懷いて學窓を旅立ち果てはインテリールンペンの有難からぬ尊稱のもとに青い吐息を吐き度せ細り宛ら「生ける屍」の無價値的存在を餘儀なくされる事であらう。

斯る火を睹るより明かな結果に專心留意しスタートすべきは將に新入學生諸君の最も重且大なる任務と云はねばならぬ。之れ特に新入學生諸君が三ケ年の醉生夢死の數を爲すを憂へ敢て愚言を弄せんとする次第である。

今や社會は完全なる實力の所有者を欲する。職業の如何を問はない。假ひその職が靴磨としても其の掃除人が他の同職者より比類なき腕前を持つて居たとせば少くとも職業戰線の勝利者となるであらう。この理よりして學科中一部門の學科を選擇し其部門に於ては完全無缺、如何なる事でも細大洩らさず知悉——他の容喙を絶體許さない位——する樣努力研究するのも又その一例である。此事は後日必ず求人者に於て「君は何學科が得意か」の質問に會ふからである。法律全般を研究するは素より我等學徒に與へられたる最初のもので又最後のものでもある。然し果して短日月間に殆んど白紙の頭を法律の頭に直し尙法律全般の研究を爲さんとするは事實に於て不可能な事である。

然し又一面實際的に時代に適應した人物となる樣努むべきは現在學校出の不評判を挽回すると同時に自己の爲め必須の事柄である。瑞西の女教育者エレン・ケイは「兒童(ヒセンチュリー)の世紀(ネフチャイルド)」の書中に於て今日の學校教育を痛烈に攻擊罵倒し『フランスでは今や學校出の不評判は通り相場になつて居る。その證據にフランスでは部下を叱責する際よく使はれる通り言葉がある。「お前は正式に學校教育を受けなかつたと云ふにそれにしては餘りに氣が利かな過ぎるではないか」と』。時代に不適な人物は如何に學業成績が良くても社會的に零であり大成を爲し難く反對に時代の要求する人物は假ひ僅かの瑕疵があつても後日有爲の青年として社會より歡迎されるは自明の理である。

學校で勤勉そのものゝコツコツ屋の優等生が多くの場合一生の存在價値は存外つまらなく學校で腕白者だつた學生が反つて社會に出で立派な人物になり其の存在價値は優等生のコツコツ屋を凌駕するのも決して珍らしい事ではない。この事實は確かに學校教育に大なる缺陷あるを如實に物語るものである。然し我等はそれらの詮索や徒らに現代社會を悲憤慷慨するよりも「先づ自己の脚下を眺めよ」と言ひたい。現今の資本主義社會は云ふに及ばず何れの時代にあつても口先ばかりの人間の必要性は毫も認められない事は當然である。

叙上の如き事柄に留意し眞に三ケ年の意義ある學生生活を送られ眞理の討究、學の實化、純正の若き心に研讃あらん事を切望するの餘り新入學生諸君の榮冠を祝ち得られたるを賞揚せず入學早々苦言を呈した次第である。宜敷く諒とせられ益々將來の健闘を祈る。

何處へ行つた!?

先輩は

象牙の塔か　就職か

「關西大學專門部第一部第一回卒業生」てふ燦たる榮譽と名聲を贏ち得て三星霜の思ひ出深き學生生活を終へた、われらの第一回先輩は果して何處へ行つた？眞理の討究制し難く更に象牙の塔への進出か？將又雄々しく怒濤逆捲く就職戰線を見事突破し黎明の社會へ船出したか？その行方は「第一回卒業生」だけに學校當局は勿論、學生間に於ても大いに期待する處だ。特に就職成績は就職希望の學生に直ちに還元し來る重大な問題なので「今や遲し」と快報を待つて居る。以下その「先輩は何處へ行つた？」を庶務係松崎先生に伺つた

往時學生の登龍門とされた上級學校志願が就職希望者の數に比して少ないのは全く時代の反映である。

我が專門部第一部の卒業生は今回が最初であり就職運動の經驗も少なく運動意の如く進捗せず且又一般社會の我專門部第一部に對する認識不十分の爲めに競爭激甚の就職戰線に悪戰苦鬪し最初に豫期した如き全部就職の成果を收め得られなかつた事は洵に遺憾に堪へない。

しかし對外的には學校當局が主動となり學生委員が學生と學校當局との連絡に努力し、學校當局に於ては十一月上旬千三百通の採用依頼狀を發送し引續き各方面に出張して採用先と交渉し、一面には校友先輩及知名の士を請待して座談會を開くこと四回（大阪市にて三回神戸市にて一回）其の所說を參考に資すると共に採用斡旋を依頼する等東奔西走就職口開拓に今尙努力しつゝある。

而して來春こそは今年の多分の經驗と第一回先輩の築いた就職地盤とに依つて大いに成果を收め得ると信ずる。

左に本年度就職概況を示せば昭和八年三月卒業者（三月十九日調）

卒業生ノ志望類別

學科別	卒業者總員	大學部第二部ニ入學ノ志望者	就職希望者ノ申出者	就職希望者テサル者
法律科	六六	三	一〇	二四
商業科	一〇〇	一五	一二	六三
經濟科	一七	四		三
計	一八三	六一	三三	一〇〇

就職希望者ノ就職概況（四月六日調）

學科別	就職確定者	就職同内定者	目下採用試驗中ノ者	目下採用申込者中ノ者
法律科	一〇	二	九	三
商業科	三	一〇	一一	一〇
經濟科	二	三	二	六
計	一五	三一	二二	一九

今年は滿蒙景氣と爲替景氣とによつて幾分求人者增加の傾向はあつたが猶二三名の採用に對し二三百人も押し寄せるといふ例年通りの競爭であつた。二月以降現在迄に採用試驗を爲した官廳若くは會社は無慮幾千とあるが各所秘術を盡しての採用試驗問題は流石受驗者をアッと言はした。

先づ口頭試問をみるに家庭の事情、趣味、思想方面、讀書等は各所で必らず聞ひたもので其他官廳、銀行、新聞社等は夫々特種の試驗を爲した。

即ち一例を示せば

◉神戸市役所

法制の部

一、租稅
二、市會
三、國務大臣

經濟の部

一、インフレーション
二、利廻
三、消費組合

學校試驗化する　採用試問

就職戰線異狀あり

其他　辯護士法律事務所三人　フイリピン大正バザー　神戸アパート、吳服店

●●●確定者先

宮廳　旭區役所、名古屋市產業部、佐世保鎭守府、神戸中央郵便局、同中央電信局、交通巡査

會社　東京時事新報社、阪神電鐵社、熊本電氣、日本タオル會社、鐵工場保險會社六名、栗田工業會社、商事會社、撫順灰販賣大阪支部

銀行　朝鮮殖產銀行、貯蓄銀行

●●●內定者先

官廳　鐵道局、稅務監督局、市電氣局

會社　某百貨店、某產業鐵道瓦斯會社三人、保險會社二人、電氣會社

其他　銀行、金融組合、吳服店、個人商店

●●●交涉中

某造船所、市電氣局、金融會社、生命保險會社

（氏名は都合上略す）

教授訪問記 (6)

標準語と好感のもてる態度

野村次夫教授

仰げば悠然たる聖峰大比叡。伏して加茂川の淸流を眺めつゝ春の日ざしを浴びてこゝ洛北の往還は、京の町へ又は大原へと行き交ふ肅趣豊かな大原女で昭和の御代とは思はれない。赤い襷に荒い絣の豊頰の大原女が、のんびりと牛を追つて行く姿は宛ら一幅の繪畫だ。

教●授の宅はこの背景にある市電植物園終点から數丁——府立農學校の側であつた。

訪問記に序文の長いのは禁物だが簞單な教授の經歷を略述せば神奈川縣人で東京外語を卒業後檢定を受驗して京大に學び稅關方面に關係されて居た。

本學教授として商法、獨逸法及倉庫稅關を擔任して居られる。

—何故大阪に御住ひになられないのですか？

—勉强した土地は離れ難いでれ。何かしら懷かしみ味があるものだ。それに京都と大阪を比較すると京都は閑靜で、勉强するに好適地だ。

大阪は經濟都市——京都は學究の都だ

就●職問題は學生の頭を支配して居る大きな惱みだ。

—今年の專門部一部の卒業生の就職率は判然として居ない。主事からも聞いて居ないが多分二三割位だらう。しかし申込は相當多いからもつと良いかも知れない。

就職の時に非常に便宜を受けるのは態度だ最初に好感を持たれる樣に言語に於ては標準語を使ふ事だね。勿語ムリのない使ひ方だよ。それには學生時代に出來るだけ各方面に旅行し標準語を會得するんだれ

現●代の教育組織に對する教授の御意見は？……

—現在の劃一的教育組織を廢して個人的教育制度を布きたい。それが理想に近い。現在の學生はあまり勉强をしない樣子だ。これ、劃一的教授組織の缺点で個人的教授法を採用すれば此の缺点は解消する

更●に教授の「學科の研究方法に付いて」の御意見として次の如く批據された。

—語學などは個人的教授方法でなければ徹底しない。一教室に二三十人位であると時間中「誰々こゝを譯して」と指定せられるので自然に勉强する樣になつて來る。

僕等は外語時代盛んにやらされたものだから自然と勉强した。

戸●外は麗らかだ。花火が近くで教授の聲が遮つてポン〳〵と聞えて來る、多分植物園の運動場からだらう。

—學校は努めて出席する事だ又學生は學友會の自分の好きな又自分に最適な部に入部する事だ。而して學內のみならず學外へも進出して社會と接觸する事だ。

教●授は競技部部長としてこれを學生に奬勵する一方自ら學生の爲に努力されてゐる。即ち斯界の權威として知られた「關大競技部」こそ教授の人格と眞に學生を思ふの熱情が凝つて所謂「關大魂」を養成し大選手を出したのだ。げにスポーツ王國關大學園を今日あらしめたのもスポーツの先生としての野村教授の賜だ。

× × ×

以●上が大体記者（？）と教授との粉飾ない會見記である。

何がさて、生れて初めての教授訪問は廻らぬ舌で御禮を述べ挨拶もそこ〳〵に辞去したが加茂川畔の微風に熱した頰をさらした時のその氣持よさ…（水落生）

コクバンのうら

學年始めとて掃ひする塵の殊に氣の利きて黑板の裏の埃りなも取り行きば年來の近視も恢復せる氣して心すがし▲と先づ嘯ぶいてゆるり〳〵と新入生諸君を歡迎し奉る▲此の間卒業生の巣立ちを泣きの涙で送つたばかりだのに今日は喜びの爆笑に變はつた▲悲し目出度のカクテルも乙な味がするわい▲世は擧げて國難非常時やれ左傾ギヤング、やれ右傾暗殺團、國際聯盟がどうのこうの、支那が…米國が…蘇聯が…ても、うたてしき世哉▲世を離れて學園に逃避すれば就職問題、帽章問題等々此所まで社會色は延びる、あゝ厭だ〳〵▲東都の某女子大の卒業旅行に三原山行きを主張して大騷ぎをしたそうだ▲彼女等の父兄は血汗を流して學費を貢いだ、偉大な女性を育て上げその血緣を誇らんが爲に……▲が數千円の學資は彼女等に死の刹那的快樂の幻想を與へたに過ぎなかつた。捨てる命があるならば支那へでも行つて篤志看護婦になつて第一線へ立てば御國の爲めにもなり本人さんの希望にも添へて一擧兩得▲各部は部費の割當の僅少をかこつ、例年の事ながら……▲全部取つたて僅か？六千圓▲六千圓の中にうごめく各部なればかこつ丈け野暮だ▲一層割當費を大切に抱いて何もせずにあぐらをかいて居て一年經て悲々しく返上した方が氣樂だらう▲がそんな勇氣？もなさそうだ

作文「都市の本質を論ず」尙左の如き單語の解釋があつた。

自力更生、遠交近攻、高材逸足、脾肉の嘆、彌縫策

●口述試驗

(1) 失業救濟事業は如何なる目的のためになされるか

(2) 近頃の物價の高いのは何故か

◉灘商業銀行

一、小資本經營が大資本により壓迫され沒落するといふが君はどう思ふ。

二、限外發行とは何か。

三、毎日の貨幣流通高を計るのはどうするか。

專門部第一部第二部學部入學許可者

▲四月十二日庶務課調▲

學科別	志願者數	許可者
法科	八九	八二
政治科	二八	二八
文學科 斬學科	五	
文學科 英文科	一	一
經濟科	三〇	一九
商科	二四	二四
計	一七七	一五八

輝かしい春
まづ若い皆樣の
御入學を
お祝ひ申上ます
制服のお誂は
是非皆樣の
長谷屋へ
大阪●上六(交叉点北西角)
長谷屋洋服部
電話南四五一二●六〇一四番

營業科目
各種金釦帽章●軍刀
指揮刀　七寶入徽章
メダル●賞牌
金銀モール縫帽章
其他　洋服附屬品製造
K
小川啓三商店
大阪市東區內本町一丁目八番地
電話東四九二五番
工場　東區德井町二丁目三八番地

雜洋文書
貨品具類
丸善株式會社大阪支店
東區博勞町四丁目百拾四番地
電話船場　一〇二〇・四〇二〇番
二一九七・四五八三番

再び擡頭せる帽章問題

僅か八拾圓が與ふる 五千學徒への影響は？

委員會で帽章改正費可決さる

專門部第一部創設以來の懸案であつた全關大帽章統一問題は昨年の大學祭を控へて、俄然重大化し千里山學生に誠意なしとして遂に商科二年經濟科二年の大學祭不參加を見るに至つた。その後愈々白熱化するものと豫想されて居たが千里山との距離の關係で交渉上の不便を來し、又二學期試驗學年末試驗等に妨げられ殆んど立消への狀態となり**唯一部分の學生のみが徒らに脾肉の嘆を詠じてゐるに過ぎなかつた**

昭和八年度の學友會委員會が構成されるや七年度委員會の帽章統一問題の處理法を生溫しとし、將來の全關大融和の爲には一時的の紛爭を犧牲にして斷然積極的手段を執るべく豫算會議に於いて帽章改正費として八拾圓を可決した。之に對して各方面の狀況を見るに千里山學生は以前あれ程頑固に反對したのであるから體面上之を無視承認をする事も出來なからうから天六學生と千里山學生間との間に紛爭の惹起する事は必然的であり又天六學生にしても今更手の引けない立場にあるからその間に挾まれる當局はその處置過る時は鼎の輕重の問はれる事となり、僅か八拾圓が五千の學徒に如何なる影響を與へるか？愈々難かしい問題となつて來るだらう。

一部二部合同の 大校友會館の建設

愈々本格的に計畫さる

此の程專門部一部二部合併の校友會館建設計畫が具体化されんとしてゐる。同會館は專門部卒業生の社交場として使用されるのみならず卒業生と學校の大連絡機關となし又縣人會、學友會各部の會場として低廉なる料金を以て解放する豫定である。猶同會館建設の曉は學園內部にありては統一平和、外部に對しては卒業生等による社會接觸により必ず好結果を齎らすものと非常に期待されて居る。

右に付き會計課の桂氏は語る本學は福島時代に於いて卒業生より學舍擴張資金として五拾圓宛寄附を受けて居たが今や財政的にその必要がなくなつた爲理事會に於いて受けない事にしたが昭和六年度二部卒業生の希望により校友會館建設の爲五圓宛基金として受け入れる事になり現在三千圓に達して居る。五萬圓に達したならば直ちに起工せられるであらうが時日や場所は今明言する事は出來ない。

本學音樂部 朝日會館で演出

五月七日晝夜二回

本學音樂部は關大一部音樂部後援會主催の下に來る五月七日朝日會館に於いて晝夜二回音樂と映畫の夕を開催する事になつた。演題は次の如し。

〃映畫〃 火の山 プレジヤンの船唄

〃音樂〃 關西大學々歌、オンパレード、カツコウワルツ、インデペンデンド、フシテバル奴さん、バグダツトの酋長

何時 何如して 解決される 學園を繞る諸問題

ノートを小脇に抱へてぶらぶら登校しボカン？と講義を聞いて居る彼氏等、陽氣に歌も唱へばアノ娘の噂もし一見朗らかな學園を造つて居る樣である。……が事實は反對、朗かさなんか吹き飛ばされて了ひさうな幾多の難問題が學園の周圍をうろ〳〵して居る。

× × ×

附屬商業學校問題

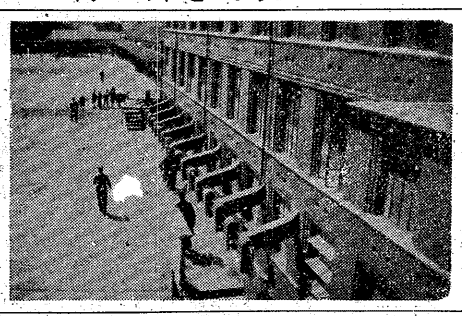
先生の講義は活辯式に熱して來る、馬の樣に動いて居た學生の耳はだん〳〵動かなくなる。然し此の緊張が五分間と續いた驗しがない。「心ない童の喧聲が何時も打碎いて了ふのだ」……と角帽連は嘯く然し附屬商業の方でも所謂大人連中のドラ聲に惱まされて居る事は否めない。解決はどちらかゞ移轉する丈けだ。所が何處を押して見ても移轉のイの字も聞えない。困つた問題だ。

專任教授問題

中等學校を出て來た丈けの人間が大學教授の講義を聞くのだ。有難い樣で眞實は有難くない。大學教授と雖も大學教育と專門教育を完全に使ひ分け得る人はあるまい。專門教育に造詣ある人より實際の專門學校の妙味を味ひたいものだ。

商科に於ける中學出と實業學校出の問題

「これ丈け云つても判らないか。頭の惡い人達だ」で借方貸方理論は何回も繰返へされる。然し商業出は先生の勞を有難く思はない。忠實に見て居るのは時計の針の進路丈けだ。唯頭から湯氣を出して居るのは中學出ばかりである。當局よ。若し財政に余裕が出來たら至急此の不合理を直して貰ひたいとは學生一般の輿論である。



對千里山感情疎隔問題

關西大學の名稱の下に統率されて居る學部及び豫科と專門部は、何故別校の如き感情を抱だかなければならなかつたか？！

第一に場所の相違から學生相互間の連絡上不便を來した事を擧げなければならない。

第二は前因並びに時間（專門部二部）に依る學友會の全体的合同が出來ない事である。加之最近起つた帽章統一問題は愈々兩者の感情を疎隔せしため。

今や全關大五千の學生間に大きな二つの潮流が渦卷いて居る。解決の点は當局が大きな力を以て公平正當な判斷を下すあるのみ……

學內設備問題

本學は余り外觀に囚はれてゐるやうだ。成る程學舍は立派？だが試みに一寸中へ入つて見給へ。汚なさと無設備は直ぐ目に付く。殊に千里山學舍に此の感が深い。學校教育は見榮の教育に非ずして質の教育なり。我々は灰を包む金の火鉢よりも、黃金を蓄ふる木綿袋を好むのだ。

× × ×

問題は未だ澤山殘つて居る。が何時如何して之を解決して本當に平和な學園を出現さすのだらう。

會計紊亂し 日大の前途多難

學內事ごとに暗鬪

醫科の職制改革に端を發せる日本大學紛擾はその爲小壯教授校友學生が奮起し同大學の改革等が叫ばれその結果總長一任となつて一先終息すると共に新たに新理事三名を增員して改革準備をなし就中紊亂せる會計を一掃せんとしたが平沼總長はお家騷動より熟々嫌氣をさして辭表を提出し之に次いで會計監査官たる鈴木喜三郎氏水野錬太郎氏も袂を同じうして同大學を去る事になつた。あれやこれやで改革運動は益々白熱し山岡學長反對派は遂に會計問題より學長の告訴をなすに至つた。因に同學の會計は選擧費用にも費消されてゐる模樣である。

演劇聯盟 六月上旬公演

關大の新響劇場、關學、外語の新人劇場。大商大の演劇部が聯盟して六月上旬大阪中之島中央公會堂で學生演劇をなす事になつた。

東上せる野球部 五大學と戰ふ

二勝二敗一分

帝都諸大學を遠征すべく東上せる本學野球部は四月八日明治大學と對戰し2A—0で惜敗せるも十一日法政大學と對し十四回の延長戰をなすも勝負決せず夕暗の爲2—2のドロンゲームとなつた。十二日立教大學と抗戰し3—1で快勝し十三日早稻田大學とは3—1で快勝するも第二次の慶應大學とは前試合の疲勞とそれによる新人の出場の爲6A—0の慘敗を見るに至り結局五戰二勝二敗一引分となりたるもその實力に於いては前年度に勝るとも劣らぬ事が實証された。

關大連勝か 立命制覇か

春季關西六大學野球リーグ戰（前記）

色々の方面より種々の見方によつて幾多の期待を持たれて居る『春の關西六大學リーグの豫想』？！ 勿論當るも八卦當らぬも八卦で容易に豫測を許す所でないが時の運たる勝敗を第三者の立場から傍觀的態度で期待し豫想して見る事とする。

將來を豫測するには過去を念頭に置かなければならない。その中で最も大きくハツキリと刻みつけられてゐるのが關大の昨秋から新春へかけての東都勢總甜めの偉勳である。あの時の關大の勢は正に破竹であつた。沈滯せる關西球界の爲、萬丈の氣を吐いた戰績は今尙ファンの記憶に忘れ得ぬもの〻一つとなつてゐるだらう。明立慶法早と將棋倒しに東都の强豪チームを薙倒した關大の名は一躍全國的になつた。天晴日本一と叫べば非難を受けるかも知れないが何と言つても關西球界の爲揚げた凱歌はすばらしいものだつた。然し今此の戰蹟を以て直ちに今春の覇者なりと予斷するには余りにも早計である。

何となれば京都の立命、神戸の關學に豫斷を許さぬデリケートな勝敗の分岐点がありはせぬか？ 昨秋の東都五大學との對抗戰に立命は慶應に二戰一勝他は何れも僅か一二点の差で惜敗して居る。關學は何れも敗れて居るがこれ又相手校を苦戰辛勝せしめて居る斯く考へ來れば關大に一日の長ありとは言へ三月の卒業による最大脅威を受けたものは關大ではなからうか。一代の名投手本田武藏君を失つた關大ナインの受けた打擊は大きい、彼が關大六星霜の在學中に殘した足跡は偉大なものがある。その黃金時代が米國遠征と咲き昨秋の有終の美と散つたのである。彼と共に卒業した者に阪井、安達の兩君がある。本田阪井と三四番處の强打者を失つた痛手は彼等がチームの攻守共に重鎭であつただけに多大である。殊に本田、西村のピッチングスタッフは正に天下無敵だつた。何れ劣らぬ名投手を交互に起用し得る處に關大の强味があり相手方を苦しめるに充分であつた。極言すれば本田あつての西村、西村あつての本田であつた。今や此の車の兩輪の片方が卒業する事は全車を傾けさせる程の致命傷であらうと之を補はんとするリリーフ越智投手の未完成は余りにも本田投手の腕が偉大であつた爲西村のよき片腕たる、亦難い哉である。

他方京都の立命は如何？關西の早慶戰とも云ふべき關立戰毎シーズン關大と一勝一敗の後決勝戰を行ひ結局リーグの第二位となる立命である。この立命は主將辻右翼手を送り出すが四番打者として一軍の主腦として確實に當てゝ行きチームを統制して行く處に彼の卒業による打擊は關大程大でない。即ち打擊に大角、辻本、靑柴、淺井、椙原、川村の强打者あり守備に太田、木全、川村、吉村、平田ありて些かも動搖を來すものではない。靑柴、椙原、川村の投手團を擁する强味は今春の關大の强敵であり苦手であらう。

次に神戸の關學は？昨秋の東都勢とは惜しい處で敗れては居るがその技倆は決して前二者と余りかけ離れてゐない。昨秋は不幸第五位だつたが春は三位だつた。然し佐藤、奥山、江里口の投手團、野村、丸山、中澤、江里口の巨砲連を並べた所に關學の强味があり底力がある。

昨秋第三位、春が五位と關學の逆を行つた神戸商大は？秋のリーグで關學同大京大を薙倒し立命と一勝一敗後敗れたあたり、實に目覺しい活躍振りだつた。中野柴草のバッテリーで突き進み而も打擊にあつて三四番の重位を打つた彼等は攻守共にチームの重鎭だつた。加之岡崎、中力、春日と强打者を配したればこそよくAクラスを獲得し得たのである。此の勢が今春持續され發揚される時は却つて關學より恐るべきチームかも知れない。

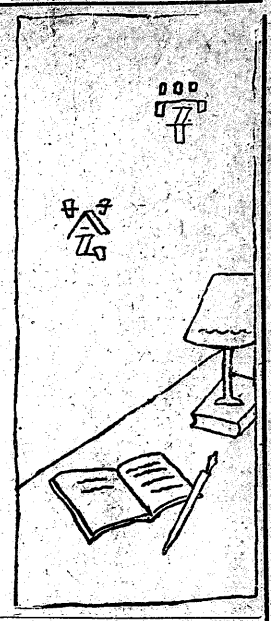
近年同志社衰へりの聲を各所で聞く、實際同志社には往年の全國制覇の意氣なく、昨年は春秋とも第四位でBクラスに甘んじなければならなかつた。松井、松岡、大河內、井上の投手團も東、竹田、越守松井、松井、松岡の巨砲連も徒らに腕を扼するのみでリーグの覇からは凡そ緣遠いものとされて居る。

京大にして又然り春秋二季に亘り黑星オンパレードを續ける京大の弱点は那邊にあるだらうか？他校に比して在學年數の短いのも一因だらう。高校、帝大と優秀選手が僅少なのも一因になる。

何れのチームが優勝するか？勝敗は水もの蓋を開けて見ねば判らぬが然し今春のリーグの覇權を狙ふものは矢張り關大と立命の一戰にかゝるものと豫想される。然らば關立何れか？ 前述の如く關大は主力戰艦を失ひ、而も昨年は春秋二季共、否一昨年秋も際どい所で勝つて居る。一昨年など一A對零と云ふ決勝戰をやつて汗を握らしたものだ。

關大に西村あり、立命に靑柴あり今春の主戰投手は此の兩投手の双肩にかゝる。剛球を武器とする西村剛球投手に對する靑柴は直球に曲球に依然立命を脅負つて立つ押しも押されぬもせぬ主戰投手である彼等の間には余り優劣がないとすれば之をリリーフする投手は關大に越智あり、立命に椙原、川村あり投手功の總和に於いては立命に稍勝味がないでもない。次に女房役の捕手はどうだらうか、關大に飛田、田中健在であり猶高槻も居る。立命には村川、堀井あり石川も時には捕手に廻つてゐるから此の處兩軍無事息災一壘は村上、廣田に對し淺井村上時としては椙原、辻本も廻つてゐる。何れも攻守共に優劣は附け難い。二壘には關大には小粒乍らも攻守共にピリッとする佐藤あり福田土屋の背景もある。立命にも辻本川村、金井、椙原と劣らぬ處を見せて居る。次に三壘は來島土屋に對し常にトップバッターを承はる大角あり石川あり遊擊には守つては內野の花打つてはシュアーな當りを見せる大橋が守備範圍も廣く元氣一ぱいの所を見せ立命には小林川村あり內野陣は正に互角、難を云へば大橋に對する小林に於て大橋に一日の長がある位のもの。一方外野陣は如何？ 何と云つても關大の痛手は坂井の卒業であらう。打つては四五番の重責を果し守つては左翼で御座れ、右翼で御座れの彼なき後、出島、有津、小泉、浮田、越智で補ふだらうが、今迄阪井、出島越智の攻守共に揃つた名トリオは一寸他に見られぬ外野陣だつた。『カーン』といふあたりを見せて白い線が弧を描いた彼方には必ずグラブがガツチリと待ち受けてゐるが如き、二壘打、三壘打、ホームランヒットの如きロングヒットの記錄欄には彼等の名の何れかを欠かさない樣な大物打ち。この点に於ても、辻、太田、木全、川村、平田、吉村を以てする立命の野外陣に對して大きいかも知れぬが七分三の比率を獻上せざるを得なかつた。

斯く論じ來れば本田、阪井なき後の關立戰こそ見物であらう。此の一戰の勝敗が今までリーグの覇權の行方を決定する試合であつた丈けに多大の期待がかけられる。（森谷生）



濁音と澄音

ゾロゾロイズムとダラダライズム

助教授・中村良之助

イカめしい石造、沙漠の樣な庭、此背景に立つ學生さん。しかも。「これが最新の流行で」と洋服屋さんの仰せに從つて製られた永い長いオーバーの書生さん。ゾロゾロにといつた形だ。今日も亦味氣ない學問に精進遊されるのかといつた感じが湧いて來て、講義させられる僕が先づ憂鬱になつちまふ。

ダラダラといつた姿だ。

……◇……

諸君！そこで一つ、ものは相談だ。もう少し青春の氣、潑溂の精神を養つて貰ひ度いのだが……學生大衆の歸趨をうたつたもの、示したものが學歌！關大の精神を凝めたのが學歌だ！あの内にあつた筈の「潑溂」の氣をね。

學歌はむづかしいよ。うたふのは勿論の事。でも、此困難と闘ふ所、それ自身が全く「潑溂の」といふ姿なんだよ。君等は青年だよ。意氣消沈しちゃ駄目だ。洋服屋の「ススメ」に諸々たる如く、オーバーが長くなる如く、心に此氣を養ひ育て給へよ。これが「相談で」といひ出した所で……——これぢや苦言かもしれぬが。

……◇……

登校登學の時だけがゾロゾロイズムかと思ふとそうに限つてないらしい。そこがイズムなんだ。論より証據、梅頭の學生、デパートの學生の姿にも此ゾロゾロがあるんだからね。おそらく、喰氣の時もだらう。

時代の勢、全く時節かも知れぬが風情のない姿だ。ゾロゾロと勉學しゾロゾロと遊びゾロゾロと人生を、送つて行くんだから。五十年の人生も全く長い筈、否短い事だ。いやどっちだか。

ゾロゾロと講義を二時間も三時間も聞いて臭れちゃアハ……。聞かされちゃ、いや全くね。

眞實、板書された問題を眺めて答案作りに「平素の難解」を此一時に解答しやうなんてゾロゾロと一行二行と書かれちゃね。牛の涎そつくり、右に左に、絶えんとして不絶條々たる余韻に前途の「良緣」を願ふだけだらう。

書かされる者の此情態如何にかゝわらず唯、時計だけは着々と進む。凡そ時計を見るもの、平素の講義の時の長さに比して此試驗の時の短さ（長さ）かに驚かぬはなからう。如何にダラダラ、ゾロゾロして見ても濁音の生活にひたつても時計計りは、カチカチ＝コチコチ、澄音をもつて學期、學年而して學生生活を清算する。

考へて見給へ。スラスラと書く時のカチカチ、ゾロゾロと書く時のガチガチ——ペンも心も——澄濁の形容と事實の符合！

此姿と其音律が作用すれば學生生活も音樂なんだ。

……◇……

「音樂はむづかしい」ていふ「調子もお玉杓子も判らぬ」といふ。そうだよ。

「音を樂しむ」なんてはじめからそんな甘い事があるものかね。「音を樂しむ」てふ域が特別にあるんじやないよ。今年の年頭の賀狀に、——音樂部何某——て素的な印刷ものを戴いたが、元旦早々誤字でもあるまいが、とに角僕は考へさゝれた。

此際、音樂＝「音を學ぶ」とふい事をすゝめる。全く皮肉のをけて、音樂より音學。あの試驗情景の濁音と澄音、登校、登學、研學、散歩凡て學生生活の音學を、心と身、思想と行動の階調、音律が整はぬ時に、矛循した時に、濁音、ゾロゾロやダラダラのイズムが發生するんじやないだらうか。

……◇……

「眞理の討究」「學の實化」なんてウツトウしい極みだと云ふ。そんな事は全く歌ひ憎いと云ふ。誠にそうだ。ゾロゾロイズムから考へたらね。ゾロゾロイズムにはテムポもリズムもトーンもないんだから無理はない。つまり階調、學生として大學に、學生生活に脈搏する何者もなくてあるものは東西南北無限放縱、ダラダラだけさ。

凡そ、歌ふ心で難しいものだが諸君は既に大學に入り大學生活を始めつゝあるんだ。學歌は大學をうたひ、學生生活を指導し我等が生命の脈動を傳へるものなんだから、うたひ易いものなんだ。ゾロゾロイズムとダラダライズムに害されてるから、うたひにくいしうたふのがいやなんだ。だから濁音になるんだよ。

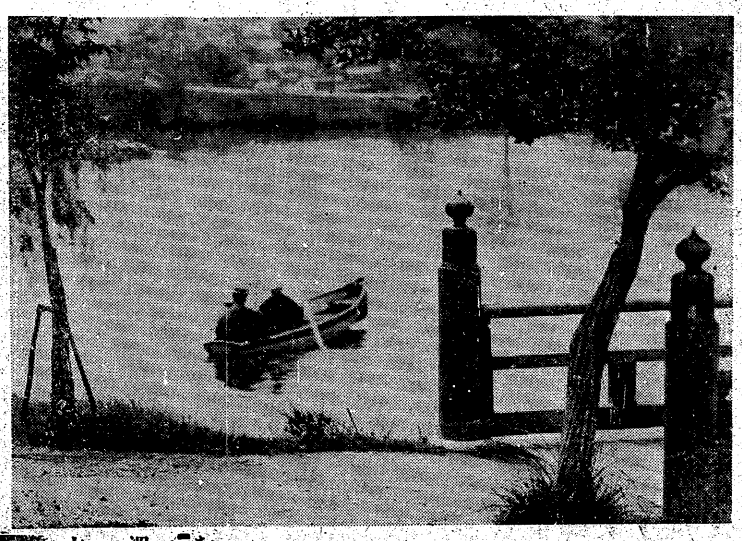
學生大衆が個々の小さい我にとらわれるから揃はぬ、うたへぬのだ。虚無＝大我＝大學を唯希念し「學生生活」を思ふと自ら口吟さめるのだ。皆揃ふのだ。大學が脈動しはじめるんだよ。

ゾロゾロと教室へ入りダラダラと時間を過してそれて「學生生活」があるかね。といつてゾロゾロと蒲鉾の樣に机板にかじりついて學生生活がダラダラしないかね。一枚の証書を握つてゾロつて見る考へは止し給へ。此点だよ。

學生大衆に結緣されて即人格の陶冶は此學生間の他生の緣に發するのでそれが「大學の門をくゞる」といふ事になるんだよ。此爲に机も椅子も金釘も角帽も入るんで入る。

で諸君！此等の結緣の神を大切に立派にしたまへ。大學をうたふ、學生生活をうたふなんて與へられるものじやない味得、感銘だ。

諸君！日々の大學に感激があるか?!自已を、大學を、しかして大學生活をうたふ心があるか?!



水と温む

ステノグラフィー

本紙速記部員記

速記！何といふ力強い言葉であらう（これは決して中學生の作文定型を示したのではない）速記！感激！速記五十音を一度でも習つた人は異口同音に先づそう云ふ。簡單なるに感激するは勿論、その理論一貫して、よくも斯く迄考へたと感激せざるを得ない。僅か一本の立棒を以て「徹底！」と讀むが如き文字通り速記は徹底して居る。

徹底して居ればこそ僅か數十名の速記者を以て帝國議會はその議事錄を編成せられ僅か數名の速記者あるが爲めに全國大新聞は驚くべき敏速さを以て報道の使命を遂行し得るのだ。

速記！何といふ力強い言葉であらう（これは決して中學生の作文定型を示したのではない）速記！感激！速記五十音を一度でも習つた人は異口同音に先づそう云ふ。簡單なるに感激するは勿論、その理論一貫して、よくも斯く迄考へたと感激せざるを得ない。僅か一本の立棒を以て「徹底！」と讀むが如き文字通り速記は徹底して居る。

徹底して居ればこそ僅か數十名の速記者を以て帝國議會はその議事錄を編成せられ僅か數名の速記者あるが爲めに全國大新聞は驚くべき敏速さを以て報道の使命を遂行し得るのだ。

社會はスピードへ！スピードへ！と絶へざる猛進を續けて居る。

この激甚なるスピードに乘つて我等は社會の大鑛脈の奥深く堀り下げ突き進まねばならぬ。速記は將にこの目的貫徹を爲すに水魚の間にある。

世界的大政治家英のグラッドストーン米のウイルソン等は何れも速記の必要を痛感し偉大なる速記力の所有者であつた。偉人の頭腦のよさ推して知るべきである。

しかるに世界に誇る東洋の文明國日本に於て未だ速記の形さへ知らぬ人あるを思へば轉々感慨無量だ。

嘗て某高等學校で「ノート制全廢！」の猛運動があつた。實際學生生活に於て凡そ試驗と匹敵して學生を苦しめるものは、このノートだ。

教授は御自分のノートを悠々朗讀し、他方學生はまるで狂人の樣に目茶苦茶なナグリ書きをすると云ふ、教授對學生のナンセンスを超へた悲痛な場面の展開は速記をやる學生にとつて嘲笑の的だ。學生は唯ノートをとる間、機械になり文字の奴隷になるを甘んじて居る。

悠々無限の曠野を行くが如き速記！他の學生が十字書く時は三字の劃數と、二字のスピードを以て常にリードし、而も急らず明瞭にタイプライターで打つた字の如く美しく書いて行く速記力を持つた學生は、その時間に於て勞力に於て上下大なる懸隔を生ずるは蓋し當然だ。

然らばノートなき日、一日としてない學生が充分過ぎる程その重要性と重寶なるを自覺しつゝなぜ速記術に入門しないのか？それは多くの人が速記は難しいもの——速記者と云ふ領域に限定されて居るといふ認識不足からだと推察する。

會員募集

速記を全然知らぬ人！
來れ!!而して
その醍醐味を知れ！
⊙入會金不要
⊙詳細は三階新聞部室迄

速記班

速記！他の學生が十字書く時は三字の劃數と、二字のスピードを以て常にリードし、而も急らず明瞭にタイプライターで打つた字の如く美しく書いて行く速記力を持つた學生は、その時間に於て勞力に於て上下大なる懸隔を生ずるは蓋し當然だ。

然らばノートなき日、一日としてない學生が充分過ぎる程その重要性と重寶なるを自覺しつゝなぜ速記術に入門しないのか？それは多くの人が速記は難しいもの——速記者と云ふ領域に限定されて居るといふ認識不足からだと推察する。

速記班

速記！
速記は決して難しいものでない。昨春繁速記班が全然速記を知らぬ人の講習會に於て早きは二週間、遅くとも一ヶ月にしてノートを樂々と全部速記文字で書ける樣に成つたと云ふ香しい過去の實例をもつて居る。

これを要するに國字負擔の過重に世界で最も苦しむ我國に於て、國字改善の狼火揚げられて過去幾星霜！

未だ其實績なく舊弊を墨守するの醜態は最早老人に委ねられず我等時代の中堅たる若き青年によつて爲さるべき大使命であらねばならぬ。

最後に熱血燃ゆる專門部第一部九百の學生諸兄！敢て言ふ奮起せよ！舊來の陋習ゴタゴタ漢字を即座にスラスラした速記文字と改めよ！自已向上と國字改善の大使命遂行の爲めに！

現今の教會に與ふ（承前）

呂圭萬

教會・は成程慈善事業を營む、救濟に金錢を集む、然しながら僕は此れ等が欺瞞と云ひたい、欺瞞と云ふ文字がひど過ぎるなら認識不足と云ひたい、何故か？教會の中軸人物よ、貴殿に眞の神の愛があれば孤兒院に補助するのも宜しい、癩病院を立てるのも宜しい、**クリスマス**に互に贈物をするのも宜しい、然しながら此等の事は皆強いて宗教家がしなくとも慈善家の好意的精神に任せた方がより大なる効果を納めるだらう。反つて諸士等が干渉し、名目の爲めに走るから道德性、人類愛に富んだ慈善家の實踐的進出を防げるのである。

職業・宗教家よ、金具の裝飾に**ライン**の際立つた三揃ひに依賴して教壇に立たなければならぬ理由が何處にありや？朝から晩迄自已陶醉になつて**ハレルヤ**を讃美するより、日々集つた金で公園の失業群に飢へた**ルンペン**に、原因の如何に依らず一切のパンと一瓶の牛乳を與へたら何うだらう？

既設・病院、養療所に與へる金錢を集めて積極的方面に出て細々な工場でも設立してその純然たる失業に苦しむ者より採集して献身的經營をしたら如何であらう？その中にて眞の有無相通を計る、此處に生きた**キリスト**の愛が存し、乾かざる永遠の生命水が流れるのである。

今の・教會の内容と内幕を眺める時、其の大部分が中産階級以上に充滿し**ブチブル**の社交場に過ぎないのみか、男女歡樂の公然たる然も無干渉な**バラダイス**に見えるのである。教會から除外された苦しむ大衆が歴史を變動して無神論を唱へ社會の改革を叫ぶ曉は如何にせんや？

何故・ならば神は眞の吾等の創造主にして吾等に自由平等を與へるから！（詳述は次期に）然し現今諸氏が唱へる讃美歌、諸氏が朗讀し任意に好辯的に解釋する聖書は決して神樣が滿足しないだらう？否、此の假面を冠つた反逆者よと御責めなさるでせう？「汝の目に見える兄弟を愛せずして如何にして目に見えぬ神を愛すると云へようか」は如何に神樣が僕等の行動を監視し、悲哀の念にて御覽になさるだらうか？

私は・述べたい、何よりも教會の大衆化を……

今でも一人の乞人が教會の門を潛る時は、職業意識に充ちた自稱中軸人物が案内するだらう、然しそれは一つの恐ろしき**カムフラジュ**に過ぎないと云ふ迄もなからうが自身も盲目に無意識的に行動するに過ぎないと云ふて憚からないのである。

現今の教會よ、一つ君に與へたい眞實がある。

其れは眞の大衆の友になれよ、何々に偏在するな、此の危機に目覺めなかつたなら宗教の眞の道理迄も永遠に影を沈めるかと思ひ前途の悲哀を痛切に感ずるのである。

諸々・の宗教標放者よ、昔時**ルーテ**が新教を建設した意氣と誠意を持つて社會の沿革と大衆の集團性に密接なる舵を握り今將に爆發しつゝある凡ての唸りを無駄に聞き流がす事なきを切望し、人間苦の眞の解決をなし、福音の眞髓と平和な歡喜ある生活を營ましめる使命を全たうし「凡て勞する者、重荷を負ふ者、我に來れ、われ汝らを休ません」の鐵則の違反行爲がなき樣に願望してペンを置く。

心ある眞の宗教家よ——絶對に人間は神の存在を否定する事は出來ないのである。

愈々高評ノ玉突

ミカド

ゲーム代
（午前 3セン
午后 4セン）

大阪市天七体留所北

學生優待

御入學をまづお祝ひ申上げます!!

浪花食堂

感じのよいこと天下一品
洋食、和食、御隨意です
御宴會に　御遊びに
新入生歡迎會は是非當食堂へ

大阪市北區天六・浪花食堂本店
電話北六四九〇番

玉突なら・チモ・斷然弊店へ

ミリオン

大阪市北區天神橋筋七丁目

諸兄の……
お勞れを癒はせますには
ミュジカル・サロンと呼ばるゝ

マルエス喫茶店
（天神橋五丁目電停東入）

突玉いる明

★學生優待、ゲーム代三錢均一★

コロコロ撞球場

★一度と言はず二度三度御來遊を★

愉快なブラク

おたふく・くらぶ
（長柄水道路北へ右側）